

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	CKD患者の健康寿命延伸に向けた行動を,非専門医とともに
別タイトル	Action for extending healthy life expectancy in CKD patients, Together with non specialist
作成者(著者)	田中,友里
公開者	東邦大学医学会
発行日	2022.09.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 69(3). p.160 161.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	教室(診療科)紹介
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2022 016
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD35411740">https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD35411740</a>

## 教室(診療科)紹介(133)

### CKD 患者の健康寿命延伸に向けた 行動を、非専門医とともに

#### 腎臓学講座 (大橋)

教授 : 常喜信彦  
准教授・医局長 : 田中友里

#### 教室概要

腎臓学講座(大橋)は、東邦大学附属大橋病院第三内科時代の循環器内科の医師であった長谷弘記先生が透析医療を担う1グループとして立ち上げられました。2005年(平成17年)大橋病院第三内科は臓器別の編成となるにあたり腎臓内科となりました。2006年(平成18年)に長谷弘記

先生が初代教授となり、2012年(平成24年)4月には腎臓学講座(大森)と連携し、腎臓学講座(大橋)となり、現在に至っております。2019年(平成31年)4月より長谷教授を引き継ぎ常喜信彦先生が教授に就任しております。2022年(令和4年)4月からは大森病院腎センター、佐倉病院内科(腎臓)との人事交流も始まり all TOHO の体制で腎臓病診療を行う基盤が整い始めております。

#### 研究

単なる排泄器官にとどまらない腎臓は、その障害により多くの病態が発生します。その代表が“心腎連関”です。私共は、ここに焦点を当てた研究を行っています。今では当たり前使用する言葉ですが、心臓-腎臓との関連に早くから着目し、精力的に臨床研究を行っています。腎臓病の進行とともに促進的に進行する冠動脈硬化に着目した研究からはじまり、現在はいわゆる腎臓病患者特有の心筋症に着目し、冠動脈微小循環障害、貧血・鉄不足、による心筋エネルギー代謝異常、Ca/P代謝異常と血管石灰化に着目した研究を行っています。学会のレジストリー研究にも積極的に参画し、現在、腎臓病患者の心房細動発症機序の解明および脳梗塞発症予防に向けた施策、腎臓病患者のQT時間延長の病態解明に関する大規模臨床研究の指導的立場を担っています。今後も腎臓病患者の予後を左右する心血



2022年5月医局員  
新病院透析室にて。

管合併症に関わる研究を行い、腎臓病患者の寿命延伸に貢献したいと考えています。

### 診 療

2002年に米国腎臓財団(NKF)が慢性腎臓病(CKD)の概念を提唱してから20年が経過し、CKDは21世紀に出現した新たな国民病となりました。多くのCKD患者の診療を腎臓専門医のみではできません。長谷弘記先生は早くから“2人の主治医”，かかりつけ医と機関病院での併診を行っており、腎臓内科では高齢者を中心に“2人の主治医”診療を行っています。また、常喜信彦先生は目黒区CKD対策ネットワークを立ち上げ、目黒区の5機関病院と目黒区医師会と連携し、慢性腎臓病進行抑制と透析導入患者の減少を目指す目的を地域で共有し、同じ目線にたった腎臓病診療を行うべく普及活動をしています。

### 教 育

日本腎臓学会認定教育施設、日本透析医学会認定施設であり、日本腎臓学専門医や日本透析医学会専門医の取得するための研修が可能です。一例一例を丁寧に深く掘り下げて診療することを motto としています。また、よき臨床医の育成に向けて、学生実習にも力を入れており、より学生も診療チームに加わった実践的な参加型実習を目指しています。

### 最後に

腎臓内科には園芸愛好者が多いことから、医局には沢山の緑があります。また医局棟駐輪場の空いたスペースを利用して、春にはチューリップ、夏にはゴーヤ、なす、キュ



医局棟駐輪場のチューリップ

2022年は300球のチューリップを植えました。殺風景な駐輪場が華やぎ、癒しの場所となりました。

ウリ、ピーマンなどの栽培にチャレンジしています。医局ではバナナ、パパイヤ、胡蝶蘭、アボカドを栽培中です。仕事の合間に新芽、緑に癒されながら、診療、教育、研究に打ち込んでおります。ご興味のある方がいましたら、一緒に仕事をしませんか。

(田中友里)

DOI : 10.14994/tohoigaku.2022-016